

# 数学

慶應義塾大学 商学部 1/1

## <全体分析>

試験時間	70分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

### 解答形式

マークシートおよび短答式（式を記入する）

### 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

小問集合が昨年の5題から2題に減少した。計算も昨年より平易であった。

### 出題の特徴

確率、平面あるいは空間座標、対数関数に関する出題が続いている。確率（数学A）と数学II、数学Bの比重が大きい。

### その他トピックス

問題文中で短答式（式を記入する）設問の空欄が大きかった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
I (i)	対数関数	数学II	対数を含む連立方程式。 2解の和と積から2次方程式を作る。	易
(ii)	微分法、積分法	数学II	2つの放物線が接する条件。 面積計算。	やや易
II	確率	数学A	袋の中の玉の個数の変化を追跡し確率を計算する。 条件つき確率。	標準
III	ベクトル	数学B	座標平面上のベクトル。	標準
IV	微分法 数列	数学II 数学B	動点を作る三角形の面積の最大値。 平面上の格子点に数列を対応させる。 群数列。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

大学入試において標準的と言われる問題で確実に得点できる実力を身につけることが、何より大切である。確率、数学II、数学Bに関しては様々な出題に対応できるようにしておきたい。

本年は標準的な問題が出題の中心であったが、過去には難度の高い問題も出題されている。過去の出題例も研究しておきたい。